ＬＣＤデジタル圧力計

取扱説明書

型番　ＤＩＬ－ＡＳ－□－０－Ｒ２－９－□

この度は､弊社の製品をお買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために､この取扱説明書をよくお読みください。
又､製品は日々改良されておりますので､現品に付属された取扱い説明書で操作を行ってください。
なお、本取扱説明書は大切に保管してください。

1. 型番
2. 仕様
3. 使用上の注意
4. 操作マニュアル
5. 電池の交換方法
6. 外形寸法図
7. 保守点検

DT-014④

1. 型番

ＤＩＬ－　ＡＳ　－　□　－　０　－　Ｒ２　－　９　－　□

型番	本体ケース形状	圧力スパン	出力	取付形状サイズ	電源	オートパワーオフ機能
基本形名	ＡＳ：下付直結（ツバなし）	198k：-98/100kPa 1 M：1MPa 10M：10MPa 50M：50MPa	なし	Ｒ２：取付ねじ R1/4	００６Ｐタイプ９Ｖ電池 9：乾電池（標準）	0：なし（標準） APO：付（ｵﾌﾟｼｮﾝ）

２．仕様

● 一般仕様

表示圧力レンジ　：－98.0～100.0kPa、0.000～1.000MPa、0.00～10.00MPa、0.0～50.0MPa
　　LCD　　（文字高　12.7mm）
表示変換速度　　：約３回／秒
電　　源　：006P タイプ 9V 電池
精　　度　：±1.0%FS±1digit
周囲温湿度範囲　：0～55℃、35～90%RH（氷結、結露不可）
ケ ー ス 材 質　：ステンレスファイバー入熱可塑性ポリエステル
フロントパネル　：PET
防塵・防滴構造　：IP65 相当
標 準 機 能　：ゼロ調整機能、ピークホールド機能、ローバッテリ警報

● センサ部仕様

精　　度　：±0.25%R.C.（直線性・ヒステリシス・再現性を含む）
許 容 過 負 荷　：200%R.C.
破 壊 耐 圧　：圧力スパンに関係なく最大 137.9MPa
温度補償範囲　：0～55℃　結露・氷結不可
動作温度範囲　：－20～70℃　（受圧媒体、氷結結露不可）
ゼロ点の温度影響：±0.04%R.C./℃
スパンの温度影響：±0.04%R.C./℃
受 圧 部 材 質　：15－5PH ステンレス
受 圧 媒 体　：15－5PH ステンレスを侵さない液体・気体

R.C.＝Rated Capacity（定格負荷）の略で、弊社は圧力スパンを表す。

● オプション仕様

オートパワーオフ機能（APO）：何もキー操作しなければ、5 分後に自動的に電源が切れ、
　　表示が消える。

３．　使用上の注意

● **センサ使用環境**

1. センサ部の使用温度範囲での温度変化には十分追従するよう温度補償されていますが、急激な温度変化の場合、測定精度に影響する場合がありますので、温度及び表示が安定してから計測を行ってください。
2. 本製品は防水構造になっておりますが、ジェット洗浄水等による局部的な放水や、常時水のかかる所でのご使用はしないでください。

● **ノイズ**

表示器が時々変動したり、異なる値を示すなど表示が一定しない場合は、ノイズの影響があると思われますので、ノイズの発生源を調べ、断ちきる必要があります。

主な方法としましては、外部からの誘導ノイズにより、センサ取り付け部からノイズが乗ってくる事もありますので、センサ取り付け部はノイズ源から遠ざける事が必要です。

４．操作マニュアル

● **電源の ON／OFF**

フロントパネルの ON　OFF キーを一度押すごとに ON／OFF を繰り返します。

● **ゼロ調整（現在かかっている圧力をゼロにする機能）**

1. 電源を入れてください。
2. 圧力がゼロであることを確認する。
3. MENU キーを１回押してください。フロントパネルの液晶表示部上部の〈TARE〉の真下の液晶部に▲が現れます。
4. フロントパネルの SEL キーを表示が 0.0 ， 0.00 ， 0.000 になる迄押し続けてください。

● **ピークホールド機能**

（ピークホールド機能を選択している間は、表示はピーク値を表示しています）

1. 電源を入れてください。
2. MENU キーを２回押してください。フロントパネルの液晶表示部上部の〈PEAK〉の真下の液晶部に▲が現れます。
3. フロントパネルの SEL キーを押してください。液晶表示部の左上にピークホールド機能にあることを示す▲が現れます。

● **ピークホールドのリセット**

1. MENU キーを１回押してください。フロントパネルの液晶表示部上部の〈TARE〉の真下の液晶部に▲が現れます。
2. フロントパネルの SEL キーを押してください。ホールドされていたピーク値がリセットされます。

● **ピークホールドから通常の計測への切り替え**

MENU キーを２回押すとピークホールドであることを示す▲が消え、通常の計測に復帰します。

● アラーム機能

アラーム出力に対応していませんので使用出来ません。

５．電池の交換方法

電池が消耗してくると液晶表示部左下部に電池マークが点灯します。この場合本製品を取り付け状態からはずして、次のように電池を交換してください。

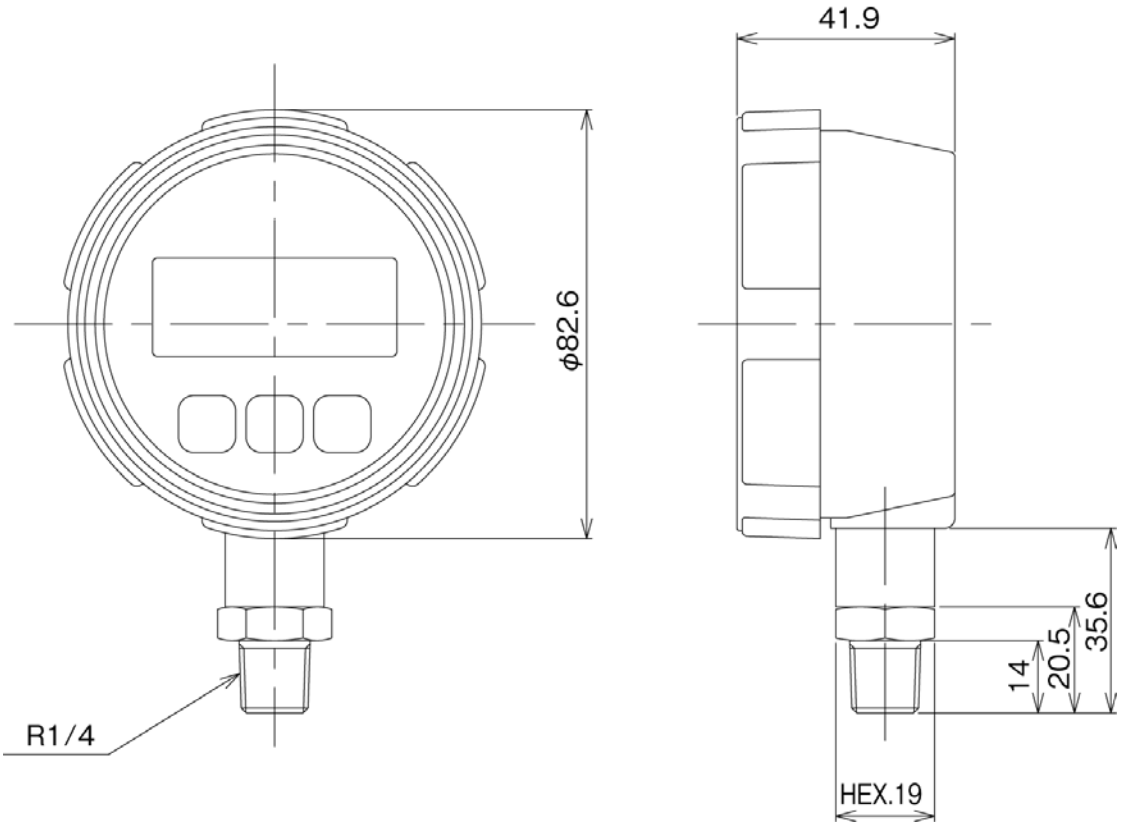
1. ケースカバーを時計回りと反対方向に回してはずしてください。
2. 次に、表示部を静かに引き出してください。センサからのリード線が接続されていますから注意してください。
3. 表示部の裏側に 006P タイプ 9V 電池があります。新しいものと交換してください。
4. 表示部を静かにもとに戻してください。
5. 表示部が回転しないように、フロントパネル部を押さえながらリングカバーを時計回りに回して締めてください。

本製品の出荷時には、006P タイプ 9V 電池を標準として内蔵しております。
ご使用条件にもよりますが、この電池はテスト用ですので、電池マークが点灯する迄の時間は長くありません。

充電池は	松下	ニッケル水素	HHR-9NPS/1B	希望小売価格　2310 円
充電器は	松下		BQ-560	希望小売価格　3990 円

をお奨めいたします。
弊社からも別売りにてご提供することも可能です。
尚、充電池の充電は、本製品内部から取り出し、充電器の取扱説明書に沿って行ってください。

６．外形寸法図



７．保守点検

点検サイクルはご使用環境により異なりますが、年１度は定期点検することをお勧めいたします。
また、３ヶ月に１度はゼロ点の確認を行い、ゼロ調整してご使用ください。

注）基準器をご用意出来ないお客様は、スパン調整ボリュームを回さないでください。

通常はゼロ点の調整のみで精度よくご使用いただけますが、再校正の必要がある場合は弊社に返送くださるか、下記の順序に従って調整してください。

① 精度の保証されている基準器をご用意ください。
② センサに残圧がないこと（通常は大気開放)、表示が「０」であることを確認してください。
③ 圧力スパン及び 1/2 圧力スパンで、表示が精度内に入っているか確認してください。
④ もしそうでないときは、ケースカバーをはずし、表示部を引き出してプリント基板上にある
Z、S、ボリュームで ON／OFF キーを押して ON にし、１～２分経過後次の手順で校正を行ってください。

1. センサを大気開放にして、Z（ゼロ）調整ボリュームを回して表示を 0.0 ， 0.00 ， 0.000 にします。
2. 圧力スパンをかけて、S（スパン）調整ボリュームを回して表示値をフルスケールに調整します。
3. 上記手順を確認の為に２回行い、その後 1/2 圧力スパンで非直線性等を確認してください。